

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1)「平成20年公益法人会計基準」を採用している
- (2)固定資産の減価償却の方法
直接法による定額法で減価償却を実施している。
- (3)消費税等の会計処理
消費税込額で表示している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
社会貢献引当資産	2,967,000	0	0	2,967,000
部会社会貢献活動引当資産	765,020	18,282	50,000	733,302
事務合理化引当資産	1,540,000	0	0	1,540,000
情報機器引当資産	1,400,000	0	0	1,400,000
周年事業引当資産	2,000,000	400,000	0	2,400,000
小 計	8,672,020	418,282	50,000	9,040,302
合 計	13,672,020	418,282	50,000	14,040,302

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	5,000,000	0
小 計	5,000,000	0	5,000,000	0
特定資産				
社会貢献引当資産	2,967,000	0	2,967,000	0
部会社会貢献活動引当資産	733,302	0	733,302	0
事務合理化引当資産	1,540,000	0	1,540,000	0
情報機器引当資産	1,400,000	0	1,400,000	0
周年事業引当資産	2,400,000	0	2,400,000	0
小 計	9,040,302	0	9,040,302	0
合 計	14,040,302	0	14,040,302	0

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物(パーティション一式)	1,465,560	548,238	917,322
ソフトウェア(会員管理システム)	354,240	354,240	0
ソフトウェア(Webサイト)	1,100,000	238,333	861,667
什器備品(会議用イス)	141,120	141,119	1
什器備品(平行移動書庫等)	416,664	290,796	125,868
什器備品(顔認証型AIサーマルカメラ)	282,700	197,890	84,810
建物附属設備(コンセント設備一式)	123,120	46,056	77,064
建物附属設備(自動火災報知設備)	106,920	74,621	32,299
合計	3,990,324	1,891,293	2,099,031

5. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	150,124	0	150,124
合計	150,124	0	150,124

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
受取全法連助成金	公益財団法人 全国法人会総連合	0	17,539,900	17,539,900	0	
受取県連助成金	一般社団法人 宮城県法人会連合会	0	1,040,900	1,040,900	0	
合計		0	18,580,800	18,580,800	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
全法連助成金計上による振替額	17,539,900
支払寄付金計上による振替額	18,282
合計	17,558,182